

みやざき農業DXスタートアップ事業提案書

(※赤字は記載例です。)

1. 実証課題の概要

(1) 提案する実証課題名

〇〇に基づく〇〇による〇〇体系の実証

(2) 実証主体（生産者団体・コンソーシアム）の名称（予定）

〇〇市〇〇部会

(3) 提案する実証内容

労働力の削減・省力化に繋がるスマート農業技術の実証	
生産性向上・生産経費低減に繋がるスマート農業技術の実証	
品質向上に繋がるスマート農業技術の実証	

(注) 複数ある場合は、実証する内容に最も近いと思われるものに○をしてください。

(4) 提案する実証課題の概要 (400文字程度)

--

(注) 実証内容をどのように実現するのか、そのためにどのようなスマート技術を導入するのか等について記載してください。

(5) 実証主体の概要（コンソーシアムは、代表機関の情報を記載）

主体となる団体等	〇〇部会
団体等の代表	〇〇部会 会長 水田 耕作
所在地	宮崎県〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇号
経営概要	
① 産地面積及び作目	〇〇ha (キャベツ〇〇ha)
② 構成員数(従業員数)	〇名

※経営概要については、法人の場合は、「① 経営面積及び作目」、「② 従業員数(代表者含む)」、
コンソーシアムの場合は、実証を行う経営体の情報を記載。

(6) 実証を行う農場の概要

実証を行う面積	〇〇ha (実証区 : 〇〇ha、慣行区 : 〇〇ha)
実証を行う作目	キャベツ〇〇ha (実証区 : 〇〇ha、慣行区 : 〇〇ha)

(注1) 経営評価等を行うため、慣行区を設定する場合は、慣行区の情報に記載。慣行区を設定しない場合においても、導入効果の測定を行うこと。

※ (7) はコンソーシアムの場合記載する。コンソーシアムでない場合は、(7) を削除の上、団体の場合は規約及び構成員が分かるものを添付すること。

(7) コンソーシアムの体制

① 実証代表者

(ふりがな) 氏名		役職	
所属機関・部署名			

(注1) **実証代表者**は、実証課題の実施計画の企画立案、実施、成果管理を総括する実証課題の代表者です。県からの連絡を日常的に受けることが可能で、その連絡事項を構成員に速やかに伝達可能な者としてください。

② コンソーシアムの構成機関

	機関名 (支所等名まで記載)	メンバーとする理由、主な役割 (簡潔に記載) (注1)
代表者		
生産者		
共同実証機関		

(必要に応じて行を追加・削除)

(注1) それぞれのメンバーの役割分担を簡潔に記載してください。

(8) 県協力機関 (農業改良普及センター、総合農業試験場等)

協力機関名	〇〇農業改良普及センター 〇〇担当	事前協議 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	-------------------------------

(注1) 本事業に応募する前に、地域の農業改良普及センター又は総合農業試験場等と事前協議を行ってください。

2. 実証課題の目的

(1) 実証課題を実施する背景及び課題

(注) 実証課題の背景や課題、本事業を実施する必要性等が分かるように記載してください。また、地域における当該スマート技術の導入状況を可能な限り定量的に記してください。

(2) 実証課題の目標とする成果

① 目標とする成果

(注1) 「目標とする成果」については、実施要領1頁の「1 委託事業の目的と内容」を必ず熟読した上で定めてください。

(注2) 「目標とする成果」について、可能な限り定量的に記載ください。例えば、慣行栽培と比較して、「農薬散布作業を〇〇時間(〇〇%)削減」等。

② 技術普及の範囲・方向性

(注1) 当該実証について、周知・広報を行う対象者及び具体的な手段を具体的に記載してください。

3. 実証するスマート農業技術の概要

機械・技術名 (メーカー・型式等)	台数	実証規模	実証概要	個別技術の目標	コスト (想定)
自動運転トラクタ (〇〇社製・A-123)	1	1ha	1haのほ場において、自動運転トラクタと有人トラクタで同種の作業を同時に実施し、旋回、調整等を含めた作業能率の向上を実証。	作業能率を1.5倍に向上させることで、1haに要する作業時間を3時間以上削減。	〇〇円

(注1) 「機械・技術名」は、複数ある場合は全て記載し、メーカー及び型式等を記載してください。

(注2) 「実証規模」は、生産段階の技術では実証を行う面積(a・ha)を、その他の技術では実証規模が分かる単位で記載してください。

(注3) 「実証概要」は、現在、地域が抱えている課題及び応募する実証内容に対して、機械または技術を導入してどのような実証を行うのかを具体的に記載してください。

(注4) 「個別技術の目標」は、実証する機械等により目指す目標を具体的に記載してください。

(注5) 「導入コスト(想定)」は、導入する機械・技術が既に販売されている場合は販売価格、今後販売される場合は想定価格を記載してください。

(注6) 導入する機械等については、パンフレット等を提出してください。

5. 経費の区分・年度別事業費の内訳（全体）

（単位：円）

経費の区分	令和5年度	合計	備考
直接経費			
人件費			
謝金			
旅費			
機械・備品費			
合計			

（注1）経費の内訳は、実施要領「8 契約上支払対象となる経費」を参考に記載。

（注2）各経費は、消費税（10%）込みで記載してください。

（注3）本実証に直接必要となる経費のみ計上ください。

（注4）委託経費の上限は、900,000円です。

（注5）「機械・備品費」については、根拠となる見積や定価等が分かる資料を添付してください。機械・備品等を購入する必要がある場合は、その耐用期間を記載ください。

（注6）スマート農業技術と認められない従来の機械・備品類等の購入等に要する費用は計上できません。

（注7）汎用性の高い備品（パソコン、フリーザー、タブレット、スマートフォン、スマートウォッチ等）は、計上できません。ただし、導入するスマート農業技術の運用・制御のために特殊用途で専用的に使用されるもので、実証に必須の場合は、ご相談ください。

（注8）必要に応じて、行を追加してください。

6. 担当者（実務的な窓口担当者）

所属			
所在地住所			
担当者	ふりがな 氏名		役職名
	所属		
	TEL		FAX
	e-mail		